

令和6年度 ケアラー支援専門員設置事業
【支援者養成研修】アンケート結果報告

【開催日時】2025年3月6日（木）14：00～16：30

【参加者数】43名

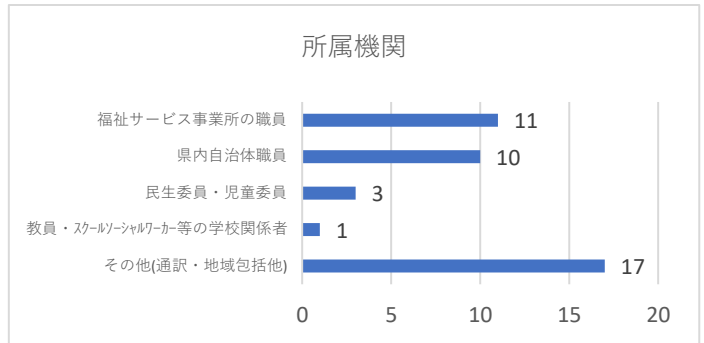
【開催場所】TKP横浜西口カンファレンスセンター カンファレンスルーム3

【回答数】42

【回答率】97.7%

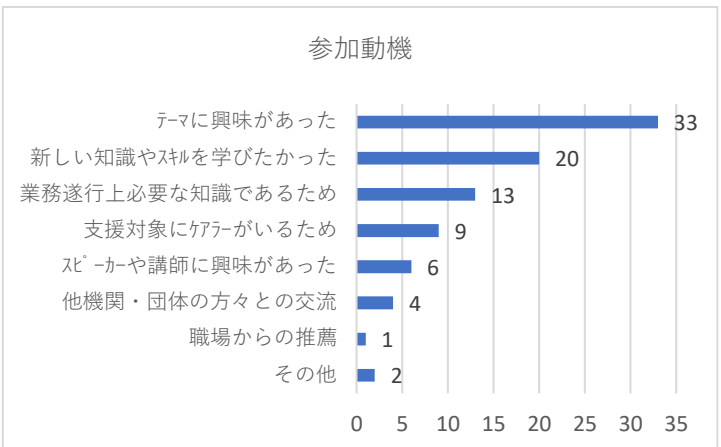
1.所属機関

所属機関名	人数	(%)
福祉サービス事業所の職員	11	26%
県内自治体職員	10	24%
民生委員・児童委員	3	7%
教員・スクールソーシャルワーカー等の学校関係者	1	2%
その他（通訳・地域包括他）	17	41%
計	42	100%



2.参加動機 ※複数回答あり

項目	人数	(%)
テーマに興味があった	33	38%
新しい知識やスキルを学びたかった	20	23%
業務遂行上必要な知識であるため	13	15%
支援対象にケアラーがいるため	9	10%
スピーカーや講師に興味があった	6	7%
他機関・団体の方々との交流	4	4%
職場からの推薦	1	1%
その他	2	2%



3.①-1中嶋先生基調講演

項目	人数	(%)
大変有意義だった	21	50%
有意義だった	21	50%
計	42	100%

【研修内容の感想・ご意見】

- ・ヤングケアラーの言葉は知っていましたが、まだ実態を知らない。これから勉強したいと思います。
- ・介護を生きがいに行っている（ように見える）8050、9060世帯の支援をしています。介護者の介護への肯定的な気持ちを否定せずに、その人の人生を楽しんでほしいと思っているのですが、中々うまくいきません。そのヒントになる言葉がたくさんありました。
- ・ヤングケアラーについて知識を深めることができました。また、支援者として配慮しなくてはならないことを実際のケースに当てはめながら想像していましたが、支援者側の想いを押し付けないようにしていきたいと思いました。
- ・ヤングケアラーの実態や周りの人はどういうことに配慮し、支援すべきかたくさんの資料を挙げながらポイントを説明して下さり勉強になった。

- ・自分が所属する自治体で、何ができるか考えるきっかけになりました。自分の知識不足、考えの至らぬ点が多かった。
- ・ケアラーという領域が広く、それぞれ課題意識が違うこと等、普段聞けないことが聞けた。
- ・ヤングケアラーの実態や当事者の精神的社会的状況、接し方等々把握できた。（知ることが出来た）
- ・ヤングケアラー(ケアラー)についての支援のあり方や実情が資料と共に講義して下さったこと自身の知識を深めるのに役立った。
- ・ヤングケアラーに限らず、ケアラーが抱えている問題について整理することが出来ました。自治体内にある社会資源について整理してみようと思いました。
- ・ヤングケアラーの抱える問題や課題、制度など含め概要をお話を聞けて良かった。

3.①-2 藤木先生 当事者体験談

項目	人数	(%)
大変有意義だった	29	69%
有意義だった	13	31%
計	42	100%

【研修内容の感想・ご意見】

- ・当事者でしか分からない思いを伝えていくことで、支援者側からだけではない支援が見えてくると思いました。
- ・「よくやっている子」から「親不孝な子」にまわりの見方が変化した話に鳥肌が立ちました。当事者の人生について思いをはせることをせずに介護を受ける側、支援を受ける人の立場にのみ焦点があたってしまうこの状況はもしかしたら全てのケアラーにも起こりがちなことかと思います。支援者としてどうあるべきかを考えたいと思います。
- ・ヤングケアラーとして体験されたこと、様々な思いで今も活動されていることお話しいただきありがとうございました。支援者として何ができるか、どのようにアプローチしていけるか、非常に考えさせられました。1人でも多くの子ども若者が良かったなと思っていただけるよう頑張っていこうと思います。
- ・当事者としていやだったこと、どうしてほしかったか具体的に語って下さり、ヤングケアラーの子に対してどんな配慮、言葉を使ったらいいかイメージできた。
- ・自分がずっと疑問に思っていたヤングケアラーとの距離感、関わり方について少しヒントをいただくことができました。
- ・実際にその時の子どもの心情がよく理解できました。今後、関わっていく対象の子に対する参考になりました。
- ・生の声は心に響きました。向き合うといっても社交辞令で声かけをすると相手を傷つけてしまう。大人も声のかけ方は何がいいかわかっていないことを自覚することが大切だと思いました。
- ・当事者の声を今までお聞きすることがなかったため貴重な機会となりました。ヤングケアラーのことを第一に考えて接すること必要な情報の提供、当事者の集う場の必要性など基本となるポイントを教えていただくことができました。
- ・当事者としての体験を聴く機会はいまだあまりなかったので、新たな発見があった。対象の子どもに対して声かけもこちらが良かれと思ってかける言葉が必ずしもそうとは受け取られない可能性があるということは勉強になった。
- ・どんな声かけしてきたか。無神経だったと思います。まずはしっかり聞くこと、これを共有していきたいと思います。

4.事例・グループワーク

項目	人数	(%)
大変有意義だった	30	71%
有意義だった	10	24%
無回答	2	5%
計	42	100%

【研修内容の感想・ご意見】

- ・考えがおよばない視点での意見が聞けて勉強になりました。
- ・他の自治体の社会資源など伺うことができ勉強になりました。
- ・様々な立場の方の意見などがきかれ参考になりました。家族まるごとの支援のむずかしさを感じました。ケアラーのおかれる状況も様々、その中で当事者の想いをくみながらどう動いていくのか、中嶋先生の“タイミング”もあるのだと思いました。正解は無いですが何か出来るかと考えさせられました。
- ・立場が違くと介入の仕方が違くと学びになった。
- ・職種の異なるグループメンバーの多様な意見を聞き、自分が気づかなかった視点を知る機会ができてよかった。

5.研修目的の達成度

項目	人数	(%)
大いに達せられた	17	41%
ある程度達せられた	22	52%
あまり達せられなかった	1	2%
無回答	2	5%
計	42	100%

【研修内容の感想・ご意見】

- ・ヤングケアラーがどんなものなのか少しわかった気がする。
- ・内容の濃い研修に参加させていただきありがとうございました。
- ・ヤングケアラーの方に出会ったことがなく知識がほとんどなかったので、中嶋先生の講義、藤木先生のお話、渡辺様の事例とワークショップはいずれも具体的で支援者としてどう接するべきかということを考えることができた。
- ・ヤングケアラー支援を志そうと思う者の第一歩としてケアラーの概略を把握できた。更に知識、技能のスキルアップに取り組みたい。
- ・ヤングケアラーがいる世帯の支援はこれまで経験がありませんが、非常に参考になりました。“当事者の思いを聴く”という基本的ですが、改めて重要性に気づきました。

6.今後の研修についてご意見

- ・グループワークがためになった。グループワークの研修があったら良いと思った。
- ・事例検討はとても有意義な取り組みであります。再度、年に数回お願いします。
- ・ヤングケアラーの心を軽くする方法や会話の仕方など。
- ・ビジネスケアラーをテーマとした研修があると良い。
- ・若者ケアラーへの支援の取り組み事例

・児童・生徒自身がケアラーである認識を持ってもらうこともケアラー問題に対応していくことの第一歩だと思いますが、教育現場等で子どもに研修等を実施していくことを学校が拒むこともあり悩んだこともありました。各分野（教育者含む）の大人に対する啓発を広めた上でケアラーの認識を広めてから当事者である子どもたちへも啓発が広まるといいなと思いました。多くの支援者となり得る多種業種の人たちのそれぞれの立場・役割に合った研修が開催していただけると幸いです。民生委員・児童委員を対象とし専門職でない人たちにも理解しやすい研修の実施を希望します。